

大すきなかぞく

芦北町立吉尾小学校 1年 たばた れん

ぼくは、テレビでじしんをみました。「いえ」や「どうろ」がくずれていて、みているだけでむねがどきどきして、とてもこわかったです。そんなこわいときに、「ぼくのかぞく」にでてくる男の子は、いえがゆれていても、かぞくにこえをかけて、かっているうしもみにいったので、とてもゆうきがあってすごいとおもいました。

そして、2かいめのゆれのときには、小さなおとうとをおんぶしてひなんします。ぼくにも2さいのおとうとがいるけど、大きなじしんがきたら、この男の子のようにできるか、かんがえました。男の子は、じぶんのかぞくがとてもすきで、だいじだからゆうきがわいてくるんだとべんきょうをしてわかりました。

ぼくは、2さいのおとうととおもちゃのとりあいをして、よくけんかをします。おとうとが、だまってとるからわるいとおもっているけど、大きなこえでないているかおをみると、ぼくもかなしくなってきました。そんなとき、ぼくはおとうとにおもちゃをゆずります。そしたらおとうとは、

「れんくん、ありがとう。」

となみだのいっぱいついたかおでわらうので、かわいいです。

おかあさんのおなかには、もうひとりおとうとがいて10がつにうまれます。ぼくは、またあたらしいおとうとに、あうことをたのしみにしています。おとうとがうまれたら、「だっこしたい。」「ミルクをつくってあげたい。」といまからしたいことがいっぱいあって、わくわくしています。うまれてくるおとうとのために、ぼくができることをがんばりたいです。